

書評セッション

茶園敏美著

『パンパンとは誰なのか—キャッチという占領期

の性暴力とGIとの親密性』(2014年 インパクト出版会)

日時：2015年7月2日(木) 18:00~20:00

場所：立命館大学 末川記念会館第3会議室

著者紹介：

京都大学学際融合教育研究推進センター・アジア研究教育ユニット研究員。大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。大阪大学博士(文学)。専門はジェンダー史、他者表象、パンパン、占領期の性病検診。著書に『パンパンとは誰なのか キャッチという占領期の性暴力とGIとの親密性』(インパクト出版会、2014年)。現在、占領初期沖縄のおんなたちのことをジェンダーの視点から考察中。

司会：上野千鶴子(立命館大学特別招聘教授)

コメンテーター：

米岡裕美(立命館大学大学院先端総合学術研究科)

宮田絵里(立命館大学大学院文学研究科)

応答：茶園敏美(京都大学学際融合教育研究推進センター・
アジア研究教育ユニット研究員)

主催：立命館大学国際言語文化研究所 ジェンダー研究会

共催：立命館大学生存学研究センター

連絡先：立命館大学国際言語文化研究所 TEL:075-465-8164/FAX:075-465-8265

E-mail：genbun@st.ritsumeai.ac.jp

※参加無料・事前申込不要

駐車スペースがございませんので、御来場の際は公共交通機関をご利用ください。